

# 9月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和7年9月26日(金)
開催日時	午後3時04分
開催場所	別館3階大会議室
出席委員	教育長 江嶋 久典 職務代理者 古田 嘉寿美 委員 木下 靖郎 委員 佐々木 美德 委員 荒川 富士子 委員 山崎 清男
出席参与	教育次長 衣笠 雄司 教育総務課長 渡辺 寛幸 学校教育課長 阿部 一徳 社会教育課長 鹿毛 義昭 博物館長 長澤 正之 淡窓図書館長 川邊 好美 人権・部落差別解消教育課長 杉野 淳太郎 学校給食課長 本川 明
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 井上 修吉
附議議案	協議事項 日田市民生委員推薦会委員の推薦について 報告第15号 令和7年8月期寄附採納について 報告第16号 「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会 議」報告書について 報告第17号 行政職員の人事異動について

教 育 長	<p>ただ今から9月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに、8月定例教育委員会の議事録の確認でございますが、変更はありませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただきましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の一般報告につきましては、お手元に配布しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは協議事項 日田市民生委員推薦会委員の推薦について説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>私から、協議事項 日田市民生委員推薦会委員の推薦についてご説明いたします。議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>江嶋教育長の民生委員推薦会委員としての任期が、本年11月30日をもって満了しますことから、後任委員の推薦につきまして、市長部局より9月18日付けて依頼を受けたところでございます。</p> <p>2ページに根拠法令を掲載しておりますが、民生委員法第5条の規定によりまして、民生委員は、民生委員推薦会が推薦した者とされておりまして、民生委員推薦会は民生委員の推薦を行う組織でございます。</p> <p>また、同法第8条第2項において、民生委員推薦会の委員は、当該市町村の区域の実情に通ずる者のうちから市町村長が委嘱することとなっております。</p> <p>任期につきましては、同法施行令第1条第2項の規定に基づき3年間となっております。後任委員の任期につきましては、令和7年12月1日から令和10年11月30日までとなっております。</p> <p>3ページには現在の委員名簿を掲載しております。</p> <p>事務局といたしましては、継続して江嶋教育長をお願いしたいと考えているところでございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
教 育 長	<p>事務局としては、私を推薦するという案のようでございますが、ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは事務局の方で推薦の手続きをお願いいたします。</p> <p>次に報告事項について説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>報告第15号 令和7年8月期寄附採納についてご説明いたし</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ます。議案集の４ページ目をお開きください。</p> <p>８月期につきましては、地区寄附が２団体から２件ございまして、まず１件目は、日田市立有田小学校育友会様から有田小学校へ、クイックテント３張、テントウエイト１８個、６６万円相当の物品を運動会等の学校行事など、有田小学校の教育振興に役立てて欲しいとのことで、ご寄附をいただいております。</p> <p>続きまして２件目です。日田市立三隈中学校育友会様から三隈中学校へ、冷水機１台、２５万円相当の物品を夏場等の生徒の水分補給のために使って欲しいとのことで、ご寄附をいただいております。８月期につきましては、以上２件、物品相当額９１万円のご寄附をいただいております。</p> <p>報告第１５号につきましては以上でございます。</p> <p>ただいまの報告につきまして何かご質疑等はございませんか。ご寄附を誠にありがとうございました。</p> <p>次に報告第１６号について、淡窓図書館をお願いします。</p>
<p>淡 窓 図 書 館 長</p>	<p>報告第１６号 「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」報告書についてご説明いたします。</p> <p>資料は別冊Ⅰの日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議報告書と、Ａ３横置きのカラ印刷をしています報告書の概要版でございます。まず別冊ⅠのⅠページをお願いします。</p> <p>日田市立淡窓図書館は、平成元年の開館から築３６年以上経過し、施設や設備の老朽化に加え、従来とは異なった機能を持つ図書館が全国各地にできており、図書館サービスを近年の多様化する市民ニーズにあったものにする必要があります。</p> <p>そこで、令和６年４月、公募市民を含め学識経験者、福祉関係、教育関係、オブザーバー等を含む１５人の委員からなる日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議を設置し、どのような図書館であるべきか、今後の在り方について検討し、日田市の町づくりに繋げるため、日田市立淡窓図書館が目指す図書館像を掲げ、報告書としてまとめましたので、本日、教育委員会へ報告を行うものでございます。</p> <p>それでは概要版で説明をいたします。</p> <p>この概要版では、目指すべき図書館像をまとめるまでに至った会議の経過について、議論の内容と総括、視察の感想を含む会議や、子どもアンケートの主な意見・要望を掲載しています。</p> <p>この検討会議では、市民ニーズに対応するため、どのような施設だったらよいか、今まで図書館に来たことがない人も訪れる</p>

ようになるには、機能やサービスはこうあったらよいのではないか等のご意見をいただき、本を借りに来るだけではない、図書館がこうなったら行ってみたい場所となるような、そんなイメージをしていただき、ニーズに対応すべく検討してきました。それでは会議の経過を説明します。

第1回目を令和6年7月18日に実施しました。検討会議の概要として、設立の経緯や目的、スケジュールや視察先を説明し、論点①として、「淡窓図書館に対する思い」などを述べていただきました。

主な意見や要望は、保護者が小さい子どもを連れて行きやすくなる図書館、勉強しながら話ができるスペース、児童スペースや勉強スペースの配置改善、高齢者の利用が難しい現状と移動手段の課題の指摘、電子化された読書手帳の提案などでした。

会議の総括として、図書館の在り方を検討する段階であり、期待される図書館のイメージなど幅広い意見を聞くことができました。市としては、新築は財政上厳しいが、サービスの充実を検討することを説明しました。

第2回目を令和6年10月24日に実施しました。

論点②として「市民が利用しやすい図書館とは」、論点③「必要な新たなサービスや機能、施設環境とは」について議論し、たくさんの意見や要望を述べていただきました。

主な意見や要望は記載のとおりです。

利便性の向上や、新たな利用者層の開拓、視察先の図書館の市民参加型の取り組みをどのように捉えるのか、子どもアンケートの意見など、これらを踏まえ、次回会議で議論を深めることにしました。

続きまして、子どもアンケートについてです。

地域の情報発信拠点として、より身近で利用しやすい施設にするため、また図書館に対するイメージやニーズを把握し、意見や要望を図書館像に盛り込むことを目的に、小中学校の児童生徒に対し、実施しました。

対象は小学校4・5年生、中学校1・2年生の計2,094名で、回答者は1,697名、回答率は81%でございました。

主な意見・要望は、楽しめる漫画やゲーム、動画などが見られる遊べる場所、長時間の読書や勉強に適した一人用の椅子や机のある場所などです。

アンケート結果から子どもたちにとっての図書館は、静かさと騒がしさのバランスのとれた場所であると感じました。子どもに限らず、これからの図書館は単に本を借りる場所ではなく、多機

能な設備を有することで、多くの人が集い、学び、楽しむことができる、知識や創造性を豊かにし、かつコミュニケーションが生まれる場所となることが求められていると考えます。また遠くへ行けない、近くに図書館が欲しいなどの意見もあり、アウトリーチサービス、利用困難者などに対する活動が必要であると考えます。

子どもアンケートの集計結果につきましては、別冊1の8ページから15ページに記載しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

続きまして、先進地視察を令和7年1月30日に、佐賀県基山町立図書館と福岡県筑後市立図書館を視察しました。

視察先については、市民ボランティアとの関わりが多くあるなど、市民協働による図書館の取り組みを重視して選びました。

市民協働の取り組みを参考に、利用促進策やサービス向上に繋がるヒントを得ることができればと思っておりました。

淡窓図書館は現在、窓口業務を民間委託していますが、完全な指定管理には移行しない方針であることから、指定管理で運営している武雄市などの図書館は選びませんでした。

基山町立図書館につきましては、平成28年4月に新築開館した図書館で、人口2万人未満の町村で1年間の貸出冊数が7年連続で最も多かったです。

町民との勉強会や意見交換会を何度も重ね、町民と一緒に作り上げた図書館です、と館長が話をされていました。

また、小中学校や駅に近い町の中心部の公園にあり、立ち寄りやすいこと、話題の新刊を積極的に揃えていること、福岡県も含めた近隣の自治体と提携を結んで、町民以外にも利用できるようにしていることが要因と分析されていました。

筑後市立図書館につきましては、平成23年に公民館図書室を増築し、市立図書館となったもので、日田市で言いますとアオーゼの一角にあるような図書館でございました。

平成24年度に就任した館長があらゆる層の市民に図書館を利用してもらおうと、利用者視点で次々とユニークな企画を打ち出し、図書館を個人の人生をより豊かなものにするための情報提供の場にしようと自ら工夫を重ね、10年間で貸出冊数は3倍に伸び、中でも児童の貸出冊数が10年間で倍増し、文部科学大臣賞を受賞されています。市民によるボランティアの協力のおかげです、と館長が話されていました。

両館ともにソフト面での活動が盛んであり、他の団体と連携しながら、いかに図書館に人を引き寄せることができるか検討しな

ければならないと考えさせられました。

視察に伺ったのが平日でしたが、両館とも沢山の利用者がいて、検討会議の皆さんもビックリされていました。

続きまして、第3回を令和7年2月6日に実施しました。

論点④「子どもたちにとっての図書館とは」として、子どもアンケートの結果、総括を踏まえ「子どもたちが求めている図書館とは」について話し合い、これまでの振り返りと、視察の感想を述べていただき、これまでの会議や子どもアンケートの意見を整理して事務局が作成した、目指すべき図書館像（素案）を提示しました。視察の感想や意見要望は記載のとおりです。

この回で事務局が意見等を整理して作成した目指すべき図書館像の素案に対して、目指すべき図書館像を支える理念やコンセプトがない、理念は明確にする必要があるなどの指摘がありました。

そのため次回の書面開催で、理念や文言の修正、意見を集約し、第5回会議で修正案をもとに最終的な報告書をまとめることにしました。

第4回については、書面開催にて令和7年3月28日に実施しました。第3回の会議で出た、目指すべき図書館像を支える理念やコンセプトがない、理念を明確にする必要があるなどの意見を基に、日田市立淡窓図書館が目指すべき図書館像の基本理念に繋がる5つの柱（案）を作成し、意見を求めました。

続きまして第5回を令和7年5月15日に実施しました。

第4回の書面開催でいただいた意見を基に修正した報告書（案）に対して、さらに意見を求め、再度修正を行い、それに対して賛同いただき、多少の文言変更は一任として合意を得ました。

第5回の会議で出た意見を取りまとめ、再修正した報告書を委員に送付して、再度意見を求め、意見の内容を考慮したうえで修正したものを、報告書の完成版とすることを伝え、2名の方から意見があったことから、内容を考慮し再修正をしたものを完成版としました。それが別冊1となります。

別冊1の2ページをお願いします。

1.日田市立淡窓図書館が目指す図書館像です。

市民検討会議や、子どもアンケートの意見・要望から導き出された図書館のあるべき姿は、中ほどに記載していますとおり

(1) から (5) にまとめられます。

市民の声と未来への展望を踏まえ、図書館ではすべての市民が図書館の持つ情報や多様な機能、そして心温まるサービスを楽しむ

できるようにするとともに、地域活動と学びを支え、さらには地域の魅力と情報を発信する拠点となることを目指し、次の基本理念を掲げます。

基本理念『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」の拠点』とし、あるべき姿の（１）から（５）の内容は、この基本理念に繋がる５つの柱、取り組むべき方向性として、次に提案します。

３ページをお願いします。

I 子どもたちの学びを深め、豊かな心を育む。

取り組むべき方向として、親子で気軽に来られる環境づくり。

読書以外の興味を引き出すイベントの実施。

楽しめる場所づくり。関係機関と連携した学習活動の支援。

II 利用しやすい、行きたくなる。

取り組むべき方向性として、サイレント部屋の設置や館内に音楽（BGM）が流れる環境づくり。

読書や勉強に適した一人用デスクスペースなどの整備。

くつろげる場所や飲食スペースなど、人が集まる場づくり。

会話ができる学習スペース、グループ会議室などの整備。

アウトリーチサービス（利用困難者などに対する活動）の展開。

III 郷土の歴史と文化の学びを支える。

取り組むべき方向として、日田市特有の歴史・文化・芸術等郷土資料の収集、保存と活用。

郷土資料等のデジタルアーカイブの構築。

IV 地域との連携や住民の交流を促進する。

取り組むべき方向性として、図書資料の貸出・返却可能な分散拠点の拡大。

企業やまちづくり・民間団体と連携したイベントなど、来館のきっかけ、仕組みづくり。

地域全体で図書館の活用を推進。

V 情報発信の強化とデジタル化を推進する。

取り組むべき方向性として、SNS等、様々な広報手段を活用した図書館の情報発信を強化。

ICタグの設置や自動貸出機など、館内設備のデジタル化。

インターネットに対応した電子書籍やオーディオブックの導入でございます。

今後この目指すべき図書館像の実現に向けて、改修構想を立て、それに沿って取り組みを進めていきたいと考えております。

報告第16号については以上でございます

教 育 長	ただいまの報告につきまして、何かご質疑等ございませんでしょうか。
山 崎 委 員	淡窓図書館の蔵書はどの程度でしょうか。
淡 窓 図 書 館 長	15万弱の蔵書があります。
山 崎 委 員	別冊1の8ページ目に子どものアンケートを集計されています。これは子どもの意見としてよくわかりました。例えば成人やその他の方々へのアンケートは取っていませんか。取ってなければ聞き取りなどはされましたでしょうか。
淡 窓 図 書 館 長	昨年度、一般の方への図書館利用者の満足度のアンケートは取っておりますが、この今後の在り方についてのアンケートは取っておりません。会議には一般公募の方がいらっしゃいましたので、その方の意見を聞いて会議を行ったということはあるのですが、広く市民にアンケートを取ることは実施しておりません。
山 崎 委 員	10ページ目を見ますと、満足度はとても高いです。これは子どもの結果で大変よいことですが、子どもは要望をたくさん出しています。ということはおそらくミスマッチもあるかもしれません。日田市だけではなく、大分市も色々あると思いますが、要するに、こういうものを見据えて、どのようにしていこうという何か具体的なものがありますか。
淡 窓 図 書 館 長	子どもアンケートで出た意見や検討会議で出た意見もまとめまして、今、図書館にない機能や設備などを今後取り入れていければと事務局としては考えております。子どもたちが求める、声を出してもよい部屋など、そういう整備ができればよいと考えております。
荒 川 委 員	教育委員会の行事日程表を拝見すると、図書館での行事は週1回ぐらいあります。例えば、ボランティアによる英語のお話会、古文書講読会など、私たちも知らないことが沢山あるなと思った中で、報告書の10ページに「行ったことがない」、「わからない・特にない」との回答が二桁になっています。これは情報が行き渡っていないから行かないのではないかという側面もあると思います。このような情報を学校と共有しているのでしょうか。

淡窓図書館長	<p>学校には図書館だよりをお配りしていますので、子どもたちの目に入っていると思いますが、ハッキリとは分かりません。その他、市の広報誌、ホームページや毎月 SNS でもお知らせをしていますが、やはり子どもたちですから、ホームページを見る機会もありません。見ている子はいらっしゃるのかもしれませんが、みんながみんな見てないかもしれませんので、いずれにしても広報活動が足りないのではないかと検討会議の委員からも指摘されましたので、もっと積極的に広報活動はしていきたいと思ます。</p>
荒川委員	<p>私はお話会のメンバーですけれども、もちろんこちらから情報を取りに行かなければなりません、ボランティアで動いている団体もいますので、その辺の口コミ情報といいますか、メディアミックスといいますか、いろんな形で大人も一緒に行ける、お話会で聞いた本が図書館にありますよとか、そういう工夫をするとよいのではないかと思います。</p>
佐々木委員	<p>視察をされたという筑後市と基山町は、子どもの利用者が倍増したという話をされました。学校の中には図書室があるにもかかわらず倍増するという事は、やはり図書館がよほど魅力的なのだろうと思いました。どのような取り組みをして倍増させられたのでしょうか。なかなか分からないところもあると思いますが。</p> <p>子どもがゲームをする時間が日田市は長いという話がありますが、その時間をどうにかして読書の方に少しでも変えられると良い効果が出るのではないかと、この報告書を見て思いました。</p>
古田委員	<p>淡窓図書館でこのような話し合いが行われて、動き始めているのだと思いますが、概要版の3番目「郷土の歴史と文化の学びを支える」の部分で、初めて日田らしさが出てくると思います。日田市特有の歴史文化、芸術、郷土資料の収集保存は、やはり活用が大切だと思います。単なる図書館にとどめずに、地域の誇りを発信する場所でもあってほしいです。例えばアートは、大事な日田の歴史文化だと思いますので、市が保管している芸術作品を淡窓図書館で紹介するスペースもあればよいなと思いますし、例えば、市民にとって身近に、芸術や郷土の歴史などに触れることができるすごく便利な場所でもあって、フラッと来たり、日田に住み始めたばかり、観光で来たとかいう人にとっては、日田とはこういう所なんだよ、ということが分かるコーナーが欲しいです。子どもたちにとっては、もっと知りたい、もっとこれについて</p>

<p>教 育 次 長</p>	<p>て学びたいと思う種まきをどれだけやっているかというのも図書館の役割だと思います。今の淡窓図書館は、郷土資料コーナーが一番奥にあり、ごく一部の人しか手を触れないような場所にあります。新築は予算的に難しいというのはよく分かりますので、今できる事がもっとあるのではないかと思います。</p> <p>8月に教育委員の研修のため大村市に行かせていただき、視察で市立図書館を訪問し、大変感銘を受けました。館内に入ってすぐの場所に郷土の偉人コーナーがズラリとあり、大村とはこんなところだ、と一度で学べる場所でした。コンパクトなスペースでしたが、同じように日田市の歴史と文化をコンパクトに紹介できるようなことが、図書館で繰り広げられればよいのではと思いました。子どもたちにとっても、地域の歴史を知り、また、未来を描いてほしいことから、とても大切な場所だと思いますので、図書館にはもっと頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。佐々木委員や古田委員のご意見のとおり、Ⅲの項目に郷土の歴史と文化の学びに関する柱を設定しております。これをどのようにして今後反映していくのかということが課題になります。</p> <p>本日いただいたご意見や、子どもたちの図書館の使い方や興味関心など、そのようなことも含めて、改修に向けて計画を立てていきたいと思っております。</p>
<p>木 下 委 員</p>	<p>別冊1の3ページの基本理念につながる5つの柱についてですが、そこには、淡窓図書館が今後目指す方向性について、具体的に明示されておまして、まさに次世代型の図書館を目指す内容になっていると思いますが、財政面での制約がある中で、これらのことをどこまで実現できるのかということが、これからの課題になるかと思いますが、その点はいかがでしょうか。</p>
<p>淡 窓 図 書 館 長</p>	<p>これら全てをすぐというのは財政的にもかなり金額がかかりますけれどもハード面とソフト面で分けられると思いますので、ソフト面については今すぐとかいうことは、今後の改修でハード面と一緒にできる部分とできない部分がありますので、年度計画みたいな形を立てて、まずは一番にしなきゃいけないところを含めてその中に、ソフト面も含められて、予算的に可能であれば、早い段階で実現させていきたいと思いますが、これは、その改修の後でも大丈夫ではないかというものであれば、それは次の年度、またその次の年度にできればよいと思います。デジタル</p>

<p>教 育 長</p>	<p>アーカイブ化なども、この開所に合わせに直ぐに出来るかどうかはまだ今後検討して、研究していかないといけませんけれども、いずれにしてもハード面の改修に合わせて、出来るソフト面の改修を最初にしていきたいと考えております。</p> <p>委員の皆さんのご質問やご意見をお聞きし、いくつかの視点があるなと思いました。おせち料理に例えるならば、お重の大きさに合わせて何を入れるかと考えるのか。そうではなく、入れたい具材をまずは拾い上げて、そして限られた枠の中に機能的に埋め込んでいくかという考え方をもってしていかなければならないと思いました。</p> <p>もう1点は、本市には博物館もありますし、郷土の偉人等のことと言えば咸宜園教育センターもありますので、そのような施設の機能と合わせながら、図書館だけで考えるのではなく、日田市にある他の施設もあわせて、どのようにして繋いで、その中で図書館の役割をどのように持つか。そのような考え方についても、もう少し、視点を絞って考えていくのも必要ではないかと思いますので、内部でもこの報告書をもう少し掘り下げて、いただきましたご意見を参考にしながら考えてみたいと思います。</p> <p>次に、報告第17号についてお願いします。</p>
<p>教 育 総 務 課 長</p>	<p>追加議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>報告第17号 行政職員の人事異動についてでございます。</p> <p>令和7年10月1日付けの行政職員の人事異動がございまして、そのうち教育委員会事務局職員に係る異動につきまして、日田市教育委員会事務委任規則第4条の規定に基づき、専決処分を行いましたので、ご報告いたします。</p> <p>続けて2ページをご覧ください。</p> <p>人事異動の専決につきましては、令和7年9月24日に行いまして、10月1日付人事異動の教育委員会における対象者につきましては、2ページに記載のとおり福祉保健部健康保険課から教育庁学校教育課への転入が1名でございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、何かご質疑等はございませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ないようでございますので、報告につきましては以上となります。</p> <p>その他についてお願いします。</p>

教育総務課長	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>10月期の定例教育委員会は、10月30日木曜日14時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>10月期定例教育委員会の日程は、ただいまの説明のとおり、10月30日木曜日ということでございますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼ぶ者あり)</p> <p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>その他、皆さん方から何かございませんでしょうか。</p> <p>意見等がなければ、以上で9月定例教育委員会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時55分</p>